

令和6年度和歌山市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、和歌山県の北西端に位置し、瀬戸内海気候区に属しており、比較的雨が少なく温暖であり、京阪神の消費地に隣接した立地条件を活かし、水田では、水稲とキャベツ・はくさい等が栽培されている。令和5年度の耕地面積は2,600ha、うち水田面積は1,790ha、水稲作付面積は1,450haである。（令和5年農林水産関係市町村別統計）近年では、農業者の高齢化が進むとともに、農家戸数の減少といった課題がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

野菜花き産地の拡大と活性化を図り、農家の収益性の向上と安定供給及び消費の拡大を推進する。

地域農業のより一層の活性化と農業経営の安定と多様化する消費者のニーズに対応するため、地域振興作物である「なす」、「きゅうり」、「とうがん」、「しょうが」を中心に、高付加価値農産物の研究・普及を関係機関と連携して行い、ブランド化の創出を支援する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

多様化する農業者のニーズに対応し、高品質苗、新規・少量多品目への育苗等の生産促進を図るため、農業近代化施設等の導入を支援する。

安定的な農業所得を確保するために、関係機関・関係団体等と連携を図り、水稲だけでなく野菜・果樹を取り入れた複合経営による生産拡大を支援する。

また、現地調査等により水田の利用状況を点検し、所有者に今後の水稲作付意向の確認を行ったうえで、地域の実情に合わせて畑地化を支援する。

なお、担い手への耕作地の集積（作業の効率化）や雑草・連作障害の抑制等を目的に、水稲と転換作物の作付を実施している農地については、計画的なローテーションを行うよう産地の状況を踏まえて検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

地域特性を踏まえつつ、環境に調和した収益性の高い農業の実現に向け、生産力向上と高品質化、低コスト化の取組を推進するとともに、産地交付金を活用して生産振興を図る。

(1) 主食用米

主食用米は、生産数量の参考値に沿った作付面積を確保し、需要に応じた生産に取り組むとともに、高品質安定生産を推進する。

(2) 非主食用米

飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米等の非主食用米は、実需を踏まえた生産の取組を支援する。

(3) 麦、大豆、飼料作物

実需を踏まえた生産の取組を支援する。

(4) 地力増進作物

次年度の有機栽培や高収益作物等への転換に向けた土づくりの取組を支援する。

(5) 高収益作物

野菜、花き、果樹等は、本地域の農業において占めるウエイトが高く産出額も大きい。

特に「なす」、「とうがん」、「きゅうり」、「しょうが」は収益性が高く、地域の特産品として位置づけたうえで振興を図ることが重要である。

その他の野菜、花き、果樹等についても、作付拡大の振興を図ることが重要である。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	1,450	0	1,450	0	1,450	0
備蓄米	0	0	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0	0	0
米粉用米	0.60	0	0.60	0	0.60	0
新市場開拓用米	0	0	0	0	0	0
WCS用稲	0	0	0	0	0	0
加工用米	0	0	0	0	0	0
麦	0.48	0	0.50	0	0.50	0
大豆	0.53	0	0.60	0	0.60	0
飼料作物	0	0	0	0	0	0
・子実用とうもろこし	0	0	0	0	0	0
そば	0	0	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0	0	0
地力増進作物	0	0	0	0	0	0
高収益作物	38.62	0	40.00	0	42.00	0
・野菜	36.97	0	38.00	0	40.00	0
・花き・花木	0.43	0	0.70	0	0.70	0
・果樹	1.10	0	1.10	0	1.10	0
・その他の高収益作物	0.12	0	0.20	0	0.20	0
その他	0	0	0	0	0	0
畑地化	0	0	0	0	0	0

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	地域振興作物 （なす、とうがん、きゅう り、しょうが）	地域振興作物の作付支援	交付面積	（令和5年度）421.92a	（令和8年度）700a
2	地域振興作物 （なす、とうがん、きゅう り、しょうが）	地域振興作物の 作付拡大支援	拡大面積	（令和5年度）156.51a	（令和8年度）434.59a

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:和歌山県

協議会名:和歌山市農業再生協議会

整理 番号	用途 ※1	作 期 等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	地域振興作物の作付支援	1	31,000	別紙のとおり	作付面積に応じて支援
2	地域振興作物の作付拡大支援	1	6,000	別紙のとおり	作付を拡大した面積へ加算助成

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載して下さい。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

和歌山市農業再生協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
和歌山市農業再生協議会	1,543,000	0	1,542,800

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

1,543,000 円

整理 番号	用途 ※1	作 期 等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3													合計 ② ※5	所要額 ①×② (円)			
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物				その他		
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木				果樹	その他の 高収益作物
1	地域振興作物の作付支援	1	31,000											488					488	1,512,800	
2	地域振興作物の作付拡大支援	1	6,000											50					50	30,000	
	合計(基幹)※4		実面積											488					488	※6	
	合計(二毛作)※4		実面積																	1,542,800	

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
 なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
 また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

追加配分を受けた場合は、整理番号1(単価上限35,000円/10a)、整理番号2(単価上限12,000円/10a)の順に活用する。

※調整後の単価は10aあたり千円単位とする。

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

整理番号1および整理番号2の所要額の合計額が配分額を超過した場合、以下により単価調整を行う。

配分額÷所要額＝単価調整係数(A)

整理番号1 計画単価(31,000円/10a)×(A)＝調整後単価(B)

整理番号2 計画単価(6,000円/10a)×(A)＝調整後単価(C)

※単価調整係数は小数第4位を切り捨てし、小数第3位とする。

※調整後の単価は10aあたり千円単位とする。

6. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名(野菜、花き・花木、果樹除く)を記載してください。

注2 収益性のわかるデータを添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	和歌山市農業再生協議会	整理番号	1			
用途名	地域振興作物の作付支援					
対象作物	別紙のとおり					
単 価	31,000円/10a(追加配分に応じて35,000円/10aを上限として千円単位で増額調整)					
課 題	<p>本地域の水田農業は小規模経営が大勢を占めており、農業経営改善のために、収益性の高い作物の振興が課題となっている。特に別表1に掲げる地域振興作物は水田農業における本地域の基幹品目であり、地域のブランド作物として、重点的に作付を振興しなければならない。</p>					
目 標		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	交付面積	目標	700 a	500 a	600 a	700 a
		実績	421.92 a	—	—	—
内 容	別表1の地域振興作物の作付を推進するため、作付面積に応じて助成する。					
具体的要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 助成対象作物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域振興作物（別表1のとおり） 2 助成対象農地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営所得安定対策等実施要綱の別紙1に定める水田 3 助成要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売を主たる目的としていること。 					
取組の確認方法	水田台帳（営農計画書）に基づき現場確認を行う。 販売実績の確認については、販売伝票の写し等により行う。					
成果等の確認方法	令和6年12月末までに、支払対象面積の集計を行う。					
備考	支援年限：令和10年度					

- ※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
- ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
- ※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	和歌山市農業再生協議会	整理番号	2			
使途名	地域振興作物の作付拡大支援					
対象作物	別紙のとおり					
単 価	6,000円/10a(追加配分に応じて12,000円/10aを上限として千円単位で増額調整)					
課 題	<p>本地域の水田農業は小規模経営が大勢を占めており、農業経営改善のため、収益性の高い作物の振興が課題となっている。特に別表1に掲げる地域振興作物は水田農業における本地域の基幹品目であり、地域のブランド作物として、重点的に作付を振興しなければならない。</p> <p>また、近年では直売所の来客数が増加するなど、地域振興作物の需要が増加しているため、作付面積の拡大を図る必要がある。</p>					
目 標		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	拡大面積	目標	257.33 a	234.59 a	334.59 a	434.59 a
		実績	156.51 a	—	—	—
内 容	前年産と比較して地域振興品目（別表1）の作付を拡大した面積へ加算助成する。					
具体的要件	<ol style="list-style-type: none"> 1 助成対象作物 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域振興作物（別表1のとおり） 2 助成対象農地 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営所得安定対策等実施要綱の別紙1に定める水田 3 助成対象面積 <ul style="list-style-type: none"> ・ 整理番号1の助成対象のうち、令和5年産作付面積の合計と本年産作付面積の合計を比較して拡大した作付面積 4 助成要件 <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売を主たる目的としていること。 					
取組の確認方法	<p>水田台帳（営農計画書）に基づき現場確認を行う。</p> <p>作付拡大した面積は、令和5年産の水田台帳（営農計画書）と比較して確認する。</p> <p>販売実績の確認については、販売伝票の写し等により行う。</p>					
成果等の確認方法	令和6年12月末までに、支払対象面積の集計を行う。					
備考	支援年限：令和9年度					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和5年度から新規に設定した目標については、令和2年度～4年度の目標の記載は不要です。

別表1

和歌山市農業再生協議会 地域振興作物			
なす	とうがん	きゅうり	しょうが